

日退教通

No. 371

2017.4

日本退職教職員協議会

東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F

〒101 0003

発行責任者 竹田邦明

TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081

E-mail nitaikyo@gmail.com

ネービーURL http://www.nitaikyo.com

2017年度(平成29年度)年金額は0.1%の引き下げ

1月27日、総務省から「平成28年平均の全国消費者物価指数」(生鮮食品を含む総合指数)が公表され、対前年比0.1%の下落となりました。

これを踏まえ、2017年度(平成29年度)の年金額は、法律の規定により、2016年度(平成28年度)から0.1%の引下げとなることから厚生労働省から公表されました。なお、2017年度(平成29年度)の年金額による支払いは、通常4月分の年金が支払われる6月からです。

年金額の改定ルール(現行)

年金額の改定については、法律上、物価変動率、名目手取り賃金変動率とともにマイナスで、名目手取り賃金変動率が物価変動率を下回る場合、年金を受給し始める際の年金額(新規裁定年金額)、受給中の年金額(既裁定年金額)ともに、物価変動率によって改定することとされています。このため、2017年度(平成29年度)の年金額は、新規裁定年金額、既裁定年金額ともに、物価変動率(▲0.1%)によって改定されます。

許すな 教育勅語を呼び戻す黒い動き

どうも黒い「教育とカネ」は森友学園のです。まるで教育勅語の本質を表しているようです。教育勅語は、国民国家を形成した明治政府が富国強兵政策遂行のため、国民に国家を意識させ、死をも厭わず奉仕させるため、天皇を神格化し、「仁義孝悌、忠君愛国」を柱にした精神の国民に植え付けるため作ったもので、学校を基地として国民に浸透し、結果、悲惨な戦争、破壊、死を招きました。しかも敗戦後、日本国憲法・教育基本法成立にも関わらず学校では教育勅語奉読が行われていたのです。そこで一九四八年、国会で排除・失効決議が行われ謄本は学校から排除されました。

一度死んだ「黒い亡霊」を幼稚園児に斉唱させ、稲田防衛大臣が「今も取り戻すもの」といい、文部大臣が「授業に活用する」のは「当然」と言い、また、「教育勅語は全体として問題だが部分的には良いところもある」という発言などは、国権の最高機関である国会の権威を喪失させ、民主主義を形骸化するものです。同時に、日本会議・神道ネットワークがこの国を蝕むところまで来ていることを注意しなければなりません。

2017年度(平成29年度)の年金額改定に係る各指標

- ・物価変動率 . . . ▲0.1%
- ・名目手取り賃金変動率^{*1} . . . ▲1.1%
- ・マクロ経済スライドによる「スライド調整率」^{*2} . . . ▲0.5%

【2017年度の新規裁定者(67歳以下の方)の年金額の例】

	2016年度 (H28年度) (月額)	2017年度 (H29年度) (月額)
国民年金 (老齢基礎年金 (満額): 1人分)	65,008 円	64,941円 (▲67円)
厚生年金 [*] (夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額)	221,504円	221,277円 (▲227円)

※厚生年金は、夫が平均的収入(標準報酬(賞与含む月額換算)42.8万円)で40年間就業し、妻がその期間すべて専業主婦であった世帯金を受け取り始める場合の給付水準です。

※1「名目手取り賃金変動率」とは、前年の物価変動率に2年度前から4年度前までの3年度平均の実質賃金変動率と可処分所得割合変化率を乗じたものです。

◆名目手取り賃金変動率(▲1.1%)
=物価変動率(0.1%) (2016年《平成28年》の値)
×実質賃金変動率(▲0.8%) (2013~2015年度《平成25~27年度》の平均)
×可処分所得割合変化率(▲0.2%) (2014年度《平成26年度》の変化率)

※2「マクロ経済スライド」とは、現役被保険者の減少と平均余命の伸びに基づいて、スライド調整率が設定され、その分を賃金や物価の変動がプラスとなる場合に改定率から控除するものです。したがって、2017年度(平成29年度)の年金額改定においては、マクロ経済スライドによる調整は行われません。

◆スライド調整率(▲0.5%)
=公的年金被保険者数の変動率(▲0.2%)
×平均余命の伸び率(▲0.3%) (2012~2014年度《平成24~26年度》の平均)

2017年度の日程

- 沖縄と連帯する日退教第8次交流
4月26日(水)~28日(金)
- 日退教第46回定期総会
6月9日(金)(前日、役員会・監査)
- 退連第21回総会
7月14日(金)(前日、役員会)
- 地公退第48回総会
7月28日(金)
- 退連高齢者集会
9月14日(木) 文京シビックホール
(前日、役員・B代表者会議)
- 地公退・地公三単産高齢者集会
9月15日(金) 日本教育会館
- 第4回東アジア海外研修旅行
(大連・旅順)
9月25日(月)~28日(木)
- 第24回五者合同学習会
10月12日(木) ラポール日教済
- 第23回日退教組織活動交流宗愛
10月13日(金) 同上

沖縄から問う ～軍事主義と性暴力～

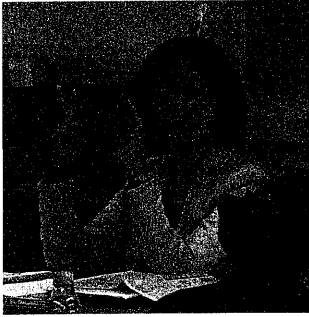
日退教 男女共生委員会
学習会講師 安次嶺美代子さん（沖縄高退教）

2月8日（水）、日退教男女共生委員会が開かれ、沖縄高退教の安次嶺美代子さんから、「沖縄から問う」～軍事主義と性暴力～というテーマでレポートしていただきました。（参加者 男女共生委員会、男女共生部会、関プロ近県単会から38名）

以下、レポートの概要を報告します。

1. はじめに

北部訓練場4千ヘクタールの返還が沖縄の負担軽減と言われるが、実際は、新たな基地の機能強化・固定化である。使用不能になった場所を還す代わりに新たに6ヶ所のオスプレイパッドを高江集落を囲むように建設するというものである。その建設によって、高江住民の生活を破壊し、貴重な動植物の生息するヤンバルの森の環境破壊が行われる。住宅地に隣接し世界で最も危険といわれる普天間飛行場がSACO合意から20年も放置されている。普天間飛行場に隣接（200メートル）するところに住む安次嶺さんは、



「戦闘機やオスプレイの騒音・爆音でドアが壊れるのではと思う。会話が遮断され、今にも墜落事故が起きるので、日々命の危険を感じている。2012年のオスプレイ配備後、自宅のフクギに昔から生息していたコウモリが全くいなくなりました。」と話された。

2. 軍事主義と性暴力

1945年から米兵によるレイプ・殺人事件は日常的にあった。犯罪・事故も数多く起こり人権が蹂躪された。宜野湾市喜友名自治会の記録によると「米兵やフィリピン兵が夜ごと各集落を襲い婦女子に暴行を加える事件が相次いだ。警察も手を出せず被害者は全くの泣き寝入りだった。」

とある。銃剣とブルドーザーで土地や住まいを奪われた住民は軍作業に従事せざるを得ない状況だったが、軍の洗濯婦やメイドとして働いていた女性達は、性暴力を受けることが多くあった。1960年以降は基地周辺に性産業が増え、そこで働く女性たちにも性暴力は向けられた。特にベトナム戦争が激化した1960年代は、心がすさんだ米兵によるレイプ・殺人事件が162件も起きている。

3. 軍事主義とジェンダー

米兵による性暴力に対して、被害を受けた女性たちは沈黙を強いられた。レイプは親告罪で、警察に届け出ても、そこでさらにセカンドレイプに苦しまなければならなかった。また、日米地位協定により犯人の引き渡しはされない。被害者落ち度論や性産業に従事する女性への偏見により、「恥」として訴えを取り下げざるをえなかった。この日米地位協定の存在や不処罰の歴史が性暴力を容認してきたのだ。

4. 暴力装置としての軍隊

人を殺す訓練に駆り出され、

「生きがい支援協会」 2017年度の事業計画

シニア・ピア・カウンセリング（傾聴ボランティアセミナー）		
7月6日（木）～7日	福岡・リーセントホテル	☎092-641-7741
7月20日（木）～21日	福岡・ガーデンパレス	☎092-713-1112
アドバイザー養成セミナー		
9月7日（木）～8日	愛知・ルブラ王山	☎052-762-3151
絵手紙講習会		
10月4日（水）	奈良・春日野荘	☎0742-22-6021
コーディネーター養成セミナー		
10月26日（木）～27日	東京・ガーデンパレス	☎03-3813-6211
全国囲碁大会		
11月9日（木）～10日	東京・市ヶ谷日本橋院	☎03-3288-8729
講演会		
12月1日（金）	静岡・未定	

詳細は「生きがい支援協会」へ

03-5919-2391

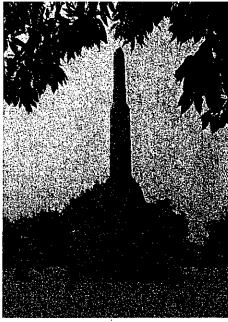
性が犠牲になった。アジア太平洋戦争中、沖縄にも慰安所が145カ所設置された。女性に対する性暴力は戦争・軍隊にとどまらず平時にも起こり続けている。その基底にあるのがジェンダー化された軍隊のヒエラルキーの温床だ。今沖縄で起きている基地問題は、軍事を最優先にした政治の在りようを問うているが、同時にジェンダー平等の視点も問われている。

兵士個々の持つ内面的な弱さも優しさも徹底的に殺がれ、ただ暴力の誇示だけが承認されるのが軍隊。人間性を壊され、敵を自分たちより劣る、殺してもいい存在と刷り込まれていくのです。そこでは極めて攻撃的な男性性が肯定される。

5. おわりに

軍隊は女性の性と身体を戦争遂行の道具にしてきた。日本軍慰安婦制度や米軍基地周辺で繰り返されるレイプや殺人事件など、戦争のために女

講演後の質疑の中で、安次嶺さんは、「日本政府はオスプレイを来年度までに17機買う予定。辺野古にもし基地ができたらオスプレイを100機配置と決まっている。恐らく沖縄だけでなく日本全国の空を飛ぶだろう。Hot in my backyard。自分の庭に來なければOKではすまない問題だ。」と話されました。軍隊や基地を性暴力という観点から深めた今回の安次嶺さんのレポートは、私たちにとって貴重な問題提起でした。（日退教事務局 まとめ）



第4回東アジア海外研修旅行(2017年9月)

—朝鮮・中国侵略のきっかけになった日露戦争の実態を
この目で学ぶ—

参加者募集します！

第1回は西安・洛陽・少林寺の世界遺産に11名、第2回は朝鮮侵略学習に38名、昨年の第3回は中国東北部侵略の学習に45名で行きましたが、日本軍の残虐行為に大きな衝撃を受けました。

日本は日清戦争に勝利しましたが、露・仏・独の3国干渉によって遼東半島の返還を余儀なくされ、「臥薪嘗胆」の標語で国民をあおり、敵意を増大させ10年後を目指して国民の生活を無視、軍備拡張を続けました。そして、大型軍艦をはじめ、口径28cmの大砲や三八歩兵銃を大量に作り、実質植民地にしていた朝鮮をめぐる日露戦争に突入しました。

今回は、日露戦争の激戦地をめぐる、稀有の愚将とも言われている乃木希典陸軍大将(長州出身)の戦術、ロシアがほしがっていた不凍港の旅順港などを見学しながら本格的な帝国主義的大陸侵略の実相を学ぶ旅です。今回は、参加者から事前に、質問・意見を集約します。

発着は成田、関空を使用します。遠隔地の人は、夜行バスが便利です。
昨年は、キャンセル待ち数人、その後は定員を超えましたので断らざるを得ませんでした。従って、今回は、1か月締め切りを早めます。

多くの申込みが予想されますが、定員になり次第打ち切りますので、ご了承ください。

月日	都市・時刻	主な内容
9月25日 (月)	成田 10:10 発 関空 10:10 発	大連周水子空港 12:00 ごろ到着 満鉄旧址陳列館、大連港他 夜「変面」鑑賞 OP
9月26日 (火)	旅順	二〇三高地、東鷄冠山北堡壘、望台山砲台、旅順港、 水師営会見所、旅順日露刑務所旧址、旅順駅他
9月27日 (水)	大連	大学でのシンポジウム、中山広場、旧大和ホテル、 師範学校訪問(日本語を学習している学生と交流)
9月28日 (木)	大連 13:10 発 大連 14:15 発	1か所ぐらい立ち寄って空港へ 成田・関空とも 17:00 ごろ到着

予約している人も、締め切りまでに申し込んでください。

参加希望者は、はがき・fax・メールで資料を請求してください。電話は受け付けません。

締め切り：5月末日。見学場所の概要・日程表・申込用紙を第1次として送付します。

申込んだ人には、後日、オリジナル学習資料を50枚送ります。旅費は、約18万円です。

●写真は、二〇三高地の慰霊碑(大砲の弾の形状) 2012年アカシアが咲く頃に松淵が撮影

申込先：〒101-0003 千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F 日退教 松淵 昂宛

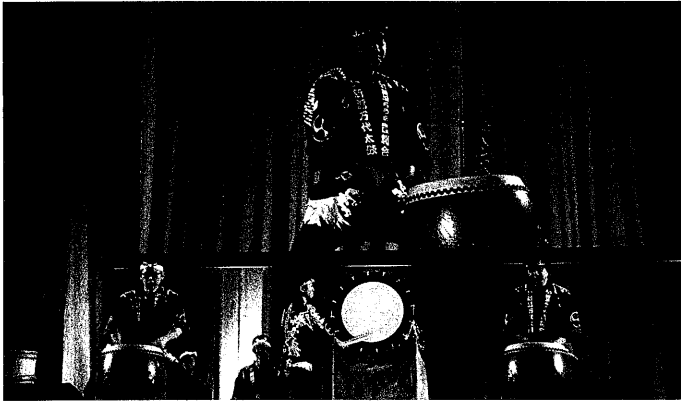
fax: 03-5275-2081 Email: matsubuchi2@gmail.com

日退教通信 全国教研報告

「沈黙の価値」、「理不尽にNOという」勇気を教える大切さ

日本退職教職員協議会 会長 西澤 清

日教組第66次新潟教研は、冬の日本海に押し寄せる荒波！怒涛のように打響く太鼓の音、新潟ろうあ「万代太鼓」豊龍会の撥音の素晴らしさに、手話の拍手がキラキラと会場に静かに広がっていく中で始まりました。産業振興センターでの全体集会では、実行委員長岡島日教組委員長代行、神津連合会長、



米山新潟県知事の挨拶、清水書記長の基調報告がありました。その内容は、トランプ大統領誕生での流動化する世界情勢、子どもの貧困、いじめ、不登校や教員の過重労働などを挙げ、これらに取り組みことを期待しているというものでした。

昨年の中教審答申(12月21日)は、「2045年には人工知能が人類を越える(シンギュラリティ)に到達」(P.10)として、それに向けて2020年教育課程を改訂するとあります。ところが、答申は「人工知能がいくらに進化しようとも、それが行っているのは与えられた目的の中での処理である。一方で人間は、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出すことができ」と極めて楽観的です。新自由主義の嵐の中で、こんな学校教育の展開は許されるのでしょうか。私は、今次改訂のポイントが、教科書のタブレット

化、英語言語での授業、アクティブラーニングにあると考え、答申を現場はどう受け止めるのか観てみたいと思ひ、教研(19分科会メディア・リテラシ教育)に参加しました。

しかし、私の参加した限りでは、共同研究者の指摘は鋭いが、報告者のレポートはそれとかみ合わず、むしろ、定式化された「ノウハウ型」の授業展開、「正しい? 答えを言わせる授業」などが紹介され評価されて、「授業(情報伝達)内容の真贋や歴史認識をどこでどうチェックするか」などの、高度情報化社会のリテラシー教育のあり方に議論が及びません。また、氾濫する情報の中で教育と学習をどう分解し結び付けるかなどの実践に乏しいように感じました。AIと人間の違いは「目的を自ら考え出す」ことではなく、人間は「答えたくないことは答えない」「理不尽に対してNOと言ひ行動できる」ことであり、教育はその力をつけるのだと改めて感じました。

◆編集後記◆

読書しようと思った昼下がりの喫茶店。注文していたぜんざいがきたので、本を閉じたら入ってきたシニア世代の男女4人の会話。

「有給休暇休んで休んでいるのに8時間働いていることになってるんだって?」当たり前じゃん」と心の中でつっこみを入れる。そのうちに電通過労自殺の話題に。「報道は母子の側に偏ってるよね」「そうそう、やりたくて入った仕事でしょ」「みんながらんばっているんだ」「外国と連絡をとるには深夜になるのは当たり前」食べようとしていた白玉が思わず落ちそうになる。

それは違う!・が、情けないが知らない人々に言う勇気はない。しかし、これが世間の声なのかもしれない。労働運動が人間らしい働き方を提唱してきたとはいえ、市民の心には届いていなかったのだ。おかしなことには「NO!」を言える人間を、と教育してきたつもりだったが、まだまだだったのだ。世の中のできごとと他人の顔をせず、過去のそして今の自分のあり方を問い直していきたい。

(た)